

## グリシン/サルコシン **N**-メチルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-1752

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** 酸素発生性耐塩性シアノバクテリア *Aphanocethece halophytica* の細胞は、グリシンからペプチンを三段階のメチル化プロセスで合成します。これは最初の酵素であり、サルコシンまたは **N,N**-ジメチルグリシンのいずれかの形成につながり、さらにメチル化されて **EC 2.1.1.157**、サルコシン/ジメチルグリシン **N**-メチルトランスフェラーゼの作用によってペプチン (**N,N,N**-トリメチルグリシン) を生成します。これは、最初の反応の生成物をさらにメチル化できるため、**EC 2.1.1.20**、グリシン **N**-メチルトランスフェラーゼとは異なります。酢酸、ジメチルグリシン、**S**-アデノシル-**L**-ホモシステインは反応を阻害することがあります。

**別名** ApGSMT; グリシン-サルコシンメチルトランスフェラーゼ; GSMT; GMT; グリシンサルコシン **N**-メチルトランスフェラーゼ; **S**-アデノシル-**L**-メチオニン:サルコシン **N**-メチルトランスフェラーゼ

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 2.1.1.156

**CAS登録番号** 294210-82-5

**反応**  $2 \text{ S-アデノシル-L-メチオニン} + \text{グリシン} = 2 \text{ S-アデノシル-L-ホモシステイン} + \text{N,N-ジメチルグリシン (全体反応)}$ ; **(1a)**  $\text{S-アデノシル-L-メチオニン} + \text{グリシン} = \text{S-アデノシル-L-ホモシステイン} + \text{サルコシン}$ ; **(1b)**  $\text{S-アデノシル-L-メチオニン} + \text{サルコシン} = \text{S-アデノシル-L-ホモシステイン} + \text{N,N-ジメチルグリシン}$

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。